



高校生×企業
コラボ企画

企業見学 by 南陽高校生

～私たちが感じた地元企業の魅力～

山形県立南陽高等学校1年生と2年生の市内企業見学に密着しました。

この取り組みは令和4年度・5年度にわたり、企業見学や意見交換を通して、「地元企業の魅力発見（人、商品、技術）」や「働くということはどういうことか」を探求することが目的です。

令和5年度訪問企業

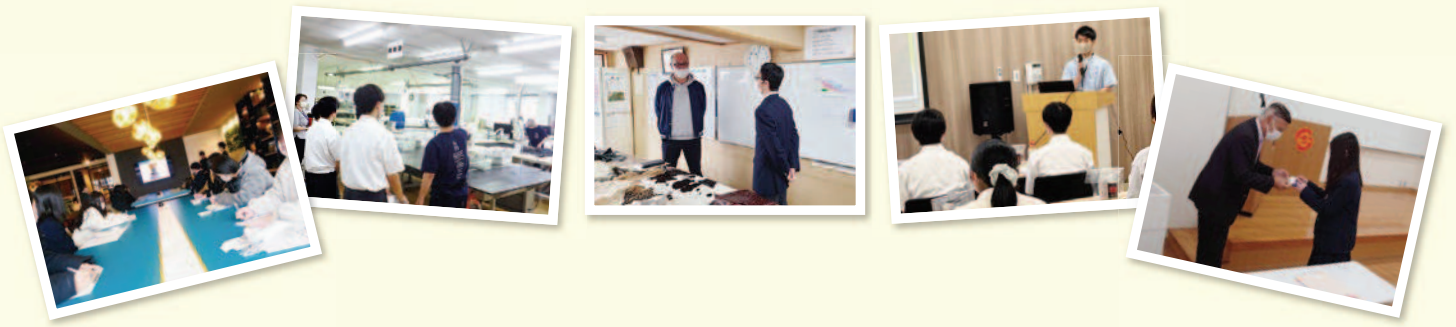
- SWS東日本株式会社山形工場
- 株式会社ナカノアパレル山形工場
- 山形食品株式会社

令和4年度訪問企業

- 東の麓酒造有限会社
- 株式会社かわでん
- 株式会社三陽製作所
- 株式会社ホリエ
- 宮城興業株式会社
- 山形朝日株式会社

企業見学では、南陽市内の事業所を巡りました。最初に自分で作成した名刺で自己紹介をしました。会社や製品の説明を受けた後、製品ができあがるまでの製造工程や事業所内を見学して理解を深めました。最後に経営者や総務担当の方などへのインタビューを通して、さまざまな職業の魅力に触れました。





\\ 企業見学を通して //



異なる業種の企業を見学し共通して感じたことは、自分が思っていたイメージとはかなり異なっていたということです。男性が多いと思っていたのに実は女性が多かったり、人の作業が主だと思っていたのに実は機械が主だったり、アットホームな会社だったり、実際に行ってみないとわからなかったことがたくさんありました。今回の見学でいろいろなことを体験できてよかったです。(高校1年生 女性)

ただ知らなかっただけで、とても素晴らしい企業ばかりでした。見学を通じて知ったのですが、地球温暖化対策を実施している企業が非常に多いことがわかりました。(高校2年生 男性)



各社の業務内容や取り組みについて知ることができ、たくさんの学びがありました。将来に繋がる素晴らしい企業見学となりました。(高校1年生 女性)

さまざまな話を聞くことができ、さまざまな経験もすることができ、非常によい経験となりました。参考になることがたくさんあり、自分の進路を考えることができました。(高校2年生 男性)



この度は貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。この見学会を通じて新たな気づきや考えを得ることができました。そして、この貴重な経験を私の進路に生かしたいと思います。(高校2年生 男性)

今回、企業見学をさせていただき、将来の視野を広げるきっかけになりました。また、地元企業について深く理解するよい機会でもありました。このような経験を通して、将来につなげていけたらと思います。(高校2年生 女性)





【企業概要】

- **所在地** 山形県南陽市池黒1182番地
- **代表者** 代表取締役・執行役員社長 渡邊 健司
- **ホームページ** <http://www.sws-e.co.jp>
- **事業内容** 自動車用ワイヤーハーネス、ゴム栓、ゴムシール部品製造
- **事業概要**



〈HP〉

ワイヤーハーネスは人の身体で例えると、「血管」や「神経」に相当します。クルマの生命線であり、最先端のテクノロジーも、ワイヤーハーネスをつないで初めて動き出します。当社は、そんなワイヤーハーネス業界で世界トップクラスのシェアを持つ「住友電気工業・住友電装グループ」のグループ企業です。

いざ！インタビューへ

Q どんなことを心がけて仕事をしている？



わからないことをわからないままにしないで、わかる人に聞くことが大切です。

Q ゴムの原料はどこから仕入れている？



シリコンゴムの原料はケイ素（ケイ石）という石ですが、その原料はオーストラリアなどから輸入されています。ケイ石は地球上で多く存在しており、シリコン原料は大きく可能性を秘めた材料です。

Q 「3S3T」活動とは？



「整理・整頓・清掃」の3Sと「定位置・定品・定量」の3Tです。

Q 機械1台1台にスタッフさんの写真が貼ってあるのはなぜ？



一人ひとりが1台の機械を担当することで、きれいに掃除したりきちんと動くか点検したり、大切に使用する意識を持つために行っています。

Q みなさんと同じように仕事ができるまでのくらいかかる？



仕事とトレーニングを平行して進め、半年位で人並の仕事ができるようになります。技能オリンピックを目指すならば更に2年位のトレーニングが必要です。

Q 1日にどのくらい製造される？



ワイヤーハーネスで2,000セットです。

企業見学を終えて

部品を作る工場は高齢男性が働くイメージでしたが、若い女性が多く驚きました。設備がしっかりしており、働きやすい職場だと感じました。
(高校1年生 女性)

とても小さな部品ですが、世界で必要とされる、自動車を動かすためになくてはならない大切なものを作っていることを知りました。
(高校2年生 男性)

働いている方のお話を聞いて、ご自身の仕事へのプライドや会社への思いが伝わりました。
(高校2年生 女性)

世界になくはないものを作る仕事で、やりがいのある会社だと感じました。
(高校2年生 男性)

新人でもしっかり練習できる場所が用意されており、技能オリンピックで結果を出すことが社員のモチベーション向上になっているとお話が印象に残りました。社員のことをしっかり考えてくれる会社だと思いました。
(高校2年生 男性)

機械だけでなく人の手でも検査していて、徹底した取り組みだと思いました。
(高校2年生 男性)





〈HP〉

【企業概要】

- **所在地** 山形県南陽市郡山1-58
- **代表者** 代表取締役会長 中野 憲司
- **ホームページ** <http://nakano-apparel.co.jp>
- **事業内容** 衣類（主に婦人服）の企画製造卸販売
- **事業概要**

素材づくりから始まる企画、縫製に至る一貫体制を構築しアパレルメーカーと共に商品を作り上げるOEMとODM製造企業になります。「“サステナブル縫製工場”がモノづくり文化にイノベーションをおこす」を経営理念とし、持続可能な社会への貢献を目標に縫製工場を運営する企業としてできることを全社員で考え抜き、関係するすべてのかたがたと共に“サステナブル縫製工場”を実現します。

いざ！インタビューへ

Q 皆さんのあいさつが印象的でしたが、あいさつを大事にされている？

あいさつは大事だと子供の頃から言われているけれど、意外と大人ができなくて。東京のとある会社を訪問した際にあいさつを受けてすごく気持ちよかったです。うちの会社でもやろう！と取り入れ実行しています。みんなでできるから気持ちも安らぐし、みんな楽しくやっているとします。



Q スタッフは、男性と女性どちらが多いですか？

90%近くが女性です。ファッション業界は特に女性が多いです。だから僕らは負けないようにがんばらないと。



Q 皆さんのようにミシンを使えるようになるには？

初めはできなくても2～3年練習すれば現場でお仕事ができるようになりますが、1人で1着丸縫いできるようになるには10年かかります。突き詰めるところまでいくと職人の世界になり時間もかかります。



Q 皆さんが着用している社名の入ったものはユニホーム？

ベトナム工場ができたときに全グループ統一して同じものを着よう！と、ベトナム工場で作りスタッフみんなが着ています。夏は半袖、冬はスウェットです。



Q アットホームな雰囲気でしたが、心がけていることは？

企業訪問で高校生が来てくれるときに、自分が着ぐるみを着ること(笑)。「楽しい会社だったらいいな」という思いを大事にしています。



Q 将来的に自分の商品を作りたい夢がある社員を応援してくれる？

僕としては応援したいし、仕事をしながら自分でなにかができ、会社の土台を使って販売することを模索することが一番大事かなと思っています。もし進学・卒業されて南陽市に戻ることがあれば、そこからでもいいのでおもしろい奴いたなあと弊社を思い出していただき、門をたたいてもらえたらいいなと思います。失敗も成功もいろんな経験をして、将来一緒にお仕事できたらいいなと思っています。(社長)



企業見学を終えて

アットホームな雰囲気とあいさつが素敵な会社だなと思いました。中野社長のうさぎの着ぐるみ姿が可愛くて印象に残っています。(高校2年生 女性)

SDGsやサステナブルについてのお話はとても勉強になりました。アパレル業界へのプライドが素敵だなと思いました。(高校2年生 女性)

中野社長はとても明るく面白い方で、こうした方のもとで働く社員も明るく笑顔で働けるのかなと思いました。また、働きやすいアットホームな会社だと感じました。(高校1年生 女性)

余った素材を再利用して服を作ったり、海外工場を建設したり、海外の人々を南陽工場に雇用して、彼らのためにシェアハウスを用意したりと、さまざまな企業努力を行っている会社だと思いました。(高校2年生 男性)

社長さんや社員さんの明るいあいさつが飛び交い、皆さまの笑顔がとても素敵な職場でした。(高校1年生 女性)

会社をよりよくするために、環境作りについてどうすれば良いかなど、社員さんがまとまり、積極的に取り組んでいる素晴らしい会社だと思いました。(高校1年生 女性)





【企業概要】

- **所在地** 山形県南陽市漆山1176番地1
- **代表者** 代表取締役社長 高橋 徹
- **ホームページ** <https://www.ym-foods.co.jp>
- **事業内容** 自社ブランド「サン&リップ」、飲料製造、ジェラート製造、農産品加工
- **事業概要**



〈HP〉

当社では自社ブランドのほかに、大手飲料メーカーの製品を受託製造しています。日本の大手ブランドと、山形の小さな工場が一緒になってものづくりができるんです。大手ブランドの委託を受けられるということは、安定して品質の高い製品を作り続けられる技術を持っているということです。当社で製造した、自分が携わった製品がさまざまな店に並んでいることが嬉しくなり、みんなに教えたくなる。そんな喜びも感じられる会社です。

いざ！インタビューへ

Q 毎日違うものを作っている？

品目によります。製造する品目が変わるたびに無菌にする工程が必要なため、できるだけ一つの品目を長い時間詰めています。その工程にたくさんお金がかかるので、なるべく切り替えをせず同じものを長時間詰めるようにしています。少量の場合ですと洗浄してもう一品目という場合もあります。



Q 不適合品はどうするの？



外見や中身の量など検査を通らなかったものは製品として問題があるので、大変もったいないのですが工場内で廃棄処分しています。

Q 自社商品のボトルやパッケージのデザインはどうしている？



自社商品のデザインは『山形代表』の黒缶デザインを始めたときから芸工大をはじめデザイナーをお願いしています。

Q 商品開発課の仕事内容は？



自社商品はもちろん、OEM（他社より依頼）飲料の商品化に向けて開発・提案をしています。飲料の試作からデザインまで、商品化するまでが商品開発の仕事になります。

Q 商品化されるまでどのくらいの期間がかかる？



半年くらいかかります。来春に新しい商品を販売したい場合、遅くとも9月までに中身・パッケージともに決まっていないと難しいのが現状です。

企業見学を終えて

『山形代表』の製造だけでなく、他の商品のペットボトルの加工から出荷まで、多くの工程を行っていることを知り、驚きました。
(高校2年生 男性)

私自身、デザイン系の仕事を目指していることもあり、パッケージデザインと芸工大のお話が特に印象に残りました。
(高校2年生 女性)

求める人材として「山形が大好きな人・あいさつができる人・意欲的な人」というお話が印象的でした。
(高校2年生 男性)

作業効率を重視した製造工程で、「安心・安全」な商品を作る努力をされていると感じました。
(高校2年生 男性)

人より機械が多く、機械化が進んでいるなど実感しました。そして、1日あたりの生産量がとても多いことに驚きました。
(高校2年生 男性)

機械化が進んでおり、人がほとんどいないことに少し寂しさを感じました。人と機械では圧倒的に作業効率が異なるのは当然のことですが、いつか人の仕事も機械に取って代わられてしまうのではないかと思います。
(高校1年生 女性)



東の麓酒造有限会社

令和4年度訪問



【企業概要】

- **所在地** 山形県南陽市宮内2557番地
- **代表者** 代表取締役 仲野 益美
- **ホームページ** <https://azumanofumoto.co.jp>
- **事業内容** 日本酒製造
- **事業概要**



〈HP〉

東北の伊勢熊野大社のお膝元に位置し、地元の米と水にこだわり日本酒造りを行っています。若者にも日本酒に親しんで欲しいという思いから、新たな取り組みとして新ブランド「天弓（てんきゅう）」を東北芸術工科大学の学生と共同開発しています。当社は、先代からの日本酒造りの伝統を守りつつ、各世代に愛される酒造りを目指しチャレンジし続けます。

いざ！インタビューへ

Q お酒を造るときに使うお米はどこから仕入れている？

お米は、お酒を造るための専用のお米「酒米」を使っています。その9割は、山形県内で栽培している「出羽燦々」、「出羽の里」、「雪女神」です。



Q どの位のお米から何リットルのお酒ができる？

純米酒は、酒米1キログラムから約2リットルできます。



Q 若い人に飲んでもらえるように、どんな工夫をしている？

日本酒は、年配の方が飲んでいるというイメージがあると思います。都会に住む若い人の中にも日本酒に関心がある人もいて、日本酒を飲む人が増えてきています。果物のようなフルーティーな香りのする日本酒が主流になっていて、若い女性にも受け入れられてきています。飲んでもらえれば美味しいと言われてもらえる自信があります。まずは手に取ってもらえるように東北芸術工科大学の学生と協力しながら、パッケージやラベルのデザインにも取り組んでいます。また、工夫の中にもトレンドだけに走らない酒造りを意識しています。



企業見学を終えて

日本酒は全体的に堅いイメージがありましたが、果物のような甘い香りのお酒もあると知って、案外飲みやすそうだなと思いました。大人になったら飲んでみようと思います。
【高校2年生 女性】

この先は、女性にも飲んでもらえるようなお酒を増やしたいと話され、会社のことだけではなく、業界全体のことを考えられていたのが印象に残っています。
【高校2年生 女性】

お米を発酵させるときの温度調整や発酵させたお米をお酒として絞り出すところなど、さまざまな工程ごとに工夫されていました。「お客さんに美味しいお酒を届けたい」という強い思いを感じました。
【高校2年生 女性】

私たちはまだ20歳未満なのでお酒には詳しくないですが、お酒を造るために時間をかけ、工夫を重ねて頑張っているんだと思いました。また、日本酒を飲む若い女性が増えていて、もっと増やすために、香りやパッケージに力を入れて頑張っていることがわかりました。
【高校2年生 女性】

すごく丁寧にお酒を造っていて、とてもお酒に対する愛情があると思いました。また、会社の人とても温かく、すごくいい会社だと感じました。
【高校2年生 女性】





【企業概要】

- **所在地** 山形県南陽市小岩沢225
- **代表者** 代表取締役社長 相澤 利雄
- **ホームページ** <https://www.kawaden.co.jp>
- **事業内容** 配電制御システムの設計、製作、販売、およびメンテナンス
- **事業概要**



〈HP〉

配電制御システムのリーディングカンパニーとして、全国トップシェアを誇っています。全国各地の著名な建築物をはじめ、官公庁や自治体の施設、地域再開発の大型プロジェクトなど、創業以来培ってきた「KAWADEN配電制御システム」が皆さんの生活をエネルギー面から支えています。

いざ！インタビューへ

Q どんなときにやりがいを感じる？

工場見学や会社説明会で学生の方とお会いして、かわでんを知ってもらい、採用につながって一緒に働けるようになったときです。(総務担当)
まったく電気の通ってない建物に自社製品で電気がもって、その建物で実際に人々が生活しているのを目にしたときです。(営業担当)



Q この職業をやりたと思ったきっかけは？

教師を目指していたところ、かわでんの総務の募集が目にとまりました。調べてみると、「働いている人をサポートする」という点が教師の仕事と共通していると感じ、働いてみようと思いました。



Q 配電盤の需要はどれくらい？

配電盤は、大きい建物の建設や建て替えに必要で、世の中に必要不可欠なものです。配電盤市場は、国内全体で1年間に約1,000億円の売上げ(需要)があります。一つの目安として、配電盤・分電盤・制御盤をお客様のカスタムメイドで造っている会社は、日本に約2,000社あります。その中で、営業、設計、製造、検査、メンテナンスまで一貫してできる会社は数社のみです。かわでんはその中の1社です。



Q 持続可能な社会 (SDGs) を目指して、どのような活動を行っているの？

さまざまな取り組みを行っています。例えば、塗装の廃液処理などは環境保全の一環として重要です。また、より環境に配慮した安全な塗料を使用することや余分な資材を使わないようにするなどの取り組みを行っています。



Q 仕事をするうえで大事なことは？

重要なのはコミュニケーションだと思っています。人それぞれ生活や育ってきた環境が違うし、得意なことも不得意なことも違います。互いに協力して製品を造りあげていくために大事なことだと思います。



企業見学を終えて

工場、機械どれをとっても大きく、管理もしっかりしていてすごいと思いました。また、大きな建物や有名な建物にもかわでんさんで製造されたものが使われていることを知り、驚きました。
【高校1年生 男性】

かわでんさんではSDGsへの取り組みもしていると聞き、安全な塗料を使用し、余分な資材は使わないなど、しっかり地球環境のことも考え、取り組んでいてすごいと思いました。
【高校1年生 女性】

本社というだけあって、工場がとても大きくびっくりしました。また、大変そうな作業でも、女性社員が多くて驚きました。パソコンで設計をする作業は、比較的女性の方でもやりやすいと思いました。
【高校1年生 女性】

とても会社が広く、たくさんの機械で大きいものを造り、さまざまなところで使用されていることがわかりました。そして、身近にあり当たり前に日々電気が使えているのはこのおかげだと知り、とても重要なお仕事をしている会社だと気がされました。
【高校1年生 女性】

製造されているものが流れ作業となっていて、効率よく作業されていたことと、たくさんの配線がつながっていたところを見て、こんなにもたくさんの工程が必要であることに驚きました。また、自分たちはそのおかげで快適に過ごせていると知って心をうたれました。
【高校1年生 女性】





〈HP〉

【企業概要】

- **所在地** 山形県南陽市池黒750-1
- **代表者** 代表取締役社長 和田 廣
- **ホームページ** <https://www.san-sun.co.jp>
- **事業内容** 厨房器具製造、各種ステンレス加工
- **事業概要**

ステンレス加工のトップメーカーとして社会に貢献しています。技術力や生産力が高く評価され、一流ホテルやテーマパーク、学校給食センターの大型物件、レストラン、居酒屋、コンビニなど幅広く受注しています。当社は、ステンレス加工を通して、すべての人が食の喜びと笑顔が絶えない社会づくりを目指しています。

いざ！インタビューへ

Q 三陽製作所の名前の由来は？

兄2人と私の3人で会社を始めたことから「三」を使い、「陽」は、太陽の「陽」を取って名前をつけました。



Q 仕事をするうえで、最も気をつけていることは？

次にまた仕事を任せても大丈夫だという「信用、信頼」を得るために、相手の立場になって物事を考え、よい製品をつくることです。また、納期は必ず守ること、間違いがあったときはいち早く対応することにも気をつけています。



Q 最もやりがいを感じるのはどんなとき？

お客様から「よい仕事をいただいた」や「よい製品をつくることができました」と喜んでいただけるときが一番嬉しいです。



Q ステンレスを取り扱う上で、気をつけていることは？

使っていただくお客様のことを考え、製品に傷をつけないようにすることです。



企業見学を終えて

見学中に、従業員の方があいさつをしてくれました。一人もかかさずです。それも、とても明るく元気に笑いかけてくださって、すごく気持ちが明るくなりました。
【高校1年生 女性】

とても社内がきれいで、たくさんの大きな機械が設置されていました。また、利用する人がけがをしないように加工していたり、細かいところまで工夫し、製造されていたことが印象に残りました。
【高校1年生 男性】

最初は、ステンレス加工を主にしている企業と聞いて、難しいものだと思っていましたが、自分がやってみたいと思える魅力のある仕事がありました。
【高校1年生 女性】

社員に優しい企業だということが印象に残りました。これが会社の拡大、存続につながるという話を聞いて、大事なことだと感じました。そして社会で一番重要なのは、「あいさつ」ということをしみじみ感じました。
【高校1年生 男性】

一人一人の社員の方が生き生きと仕事をされていて、工場内の雰囲気がとてもよかったです。また、時代に合わせてルールを変えているところが印象に残りました。
【高校1年生 男性】





【企業概要】

- **所在地** 【本社】山形県飯豊町椿2529
【ciel Green Lounge】山形県南陽市赤湯3056イオンタウン南陽内
代表取締役 堀江 龍弘
- **代表者**
- **ホームページ** <https://www.cielhome.jp> ((株)ホリエ) <https://ciel-green-lounge.jp> (ciel Green Lounge)
- **事業内容** 建築事業、インテリア事業、ホテル事業
- **事業概要**



人にも環境にも優しい、リゾート感覚の健康住宅を目指しています。令和3年にイオンタウン南陽内に南陽オフィスを開業。「ciel Green Lounge (シエルグリーンラウンジ)」を併設し、レンタルスペース(会議室)、カフェスペース、キッズスペースなどを備えたオープンラウンジとなっています。ビジネスマンをはじめ、子育て中の親御さんなど、どなたでも利用できる施設です。ほかにHOTEL SLOW VILLAGEを展開。

いざ!インタビューへ

Q 今までで一番印象に残っている住宅は?

一番最初に手掛けたお客様の住宅です。小さいころから知っている先輩で、千葉まで行ってデザインの打合せを行いました。当時20代の自分に高額なものを頼んでいたことが嬉しかったですし、とても印象に残っています。



Q 実際の建物とのギャップを生まないために最も気をつけていることは?

カタログやホームページ、モデルルームなどで発信している建物の雰囲気やクオリティを実際にお客様に提供できるようにすることです。他社でもグレードの高いモデルルームをカタログやホームページで発信していますが、実際の標準仕様とのギャップが見受けられることがあります。当社のカタログなどに掲載している建物は、標準仕様で建てられたものであり、ほとんどが実際に建てたお客様の建物なので、リアリティを感じていただくことができます。



Q 仕事をする際に大切にしていることは?

お客様との調整やチームメイトとの打合せで、普段友達と話す感覚で話をすると、声が届きづらくなり、暗い印象になってしまうことがあります。声のトーンを上げて、伝えたい人の後ろにも人がいると想定して、相手が聞き取りやすい会話に心がけています。



Q 建築をデザインする際に最も必要としている能力は?

すてきな空間をデザインしたいと思ったときは、インプットの量を増やすことが大事だと思います。センスは知識です。センスは天性のものだと思われかもしれませんが、そうではなく、どれ位インプットしてきたかだと思います。さまざまなことをインプットすることでアウトプットの質が上がります。また、お客様の満足度を上げるためには、ヒアリング力を上げることです。お客様のニーズを深いところまで聞くこと、例えば何が欲しいかお聞きしたとき、ウッドデッキが欲しいと聞いて終わるのではなく、そこで何をしたいのかをお聞きすることでウッドデッキの内容が変わってきます。その家で生活してどんな気持ちになるかを設計者がお客様と同じ気持ちを持ってデザインしないと満足にはつながらないと考えています。



企業見学を終えて

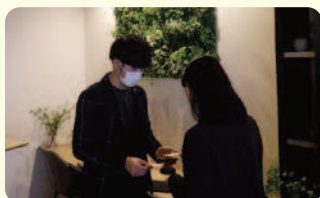
社長や社員の方がおしゃれな職場でした。社員の一人ひとりが家をデザインすることについて、しっかりとした考えを持ってすごいのと思いました。全体的にとってもユニークな職場でした。
【高校2年生 女性】

社長の「センスは天性のものではなく、どれだけインプットしたかどうかである」の言葉が印象に残りました。センスは生まれ持ったものではなく、磨くものだと気づくことができました。
【高校2年生 女性】

とにかくおしゃれできれいですてきなところでした。ここで働きたいと初めて思えた会社でした。ぜひ、高卒でも働けるような仕事があればいいなと思いました。
【高校2年生 女性】

社長とのZoomでの質問では、とても詳しくお話をされて、自分の意見をしっかり持っていて素晴らしかったです。家づくりではリラックスした空間を重視されていて、見せていただいた写真はホテルみたいな内装で、私もこんな家に住みたいと思いました。
【高校2年生 女性】

会社の雰囲気や展開している事業が多くて、すごい会社だと思いました。また、コンセプトや経営理念が明確で、それを実践されているのがすごいと思いました。社員一人ひとりの意見やお客様の意見をとても大切にしている、すごく温かい会社だと思いました。
【高校2年生 女性】





【企業概要】

- **所在地** 山形県南陽市内2200
- **代表者** 代表取締役社長 荒井 弘史
- **ホームページ** <https://www.miyagikogyo.co.jp>
- **事業内容** 紳士用革靴、男女ウォーキングシューズ、ゴルフシューズなど（グッドイヤーウェルト式などの製法にて）
- **事業概要**



〈HP〉

当社創業50周年（1991年）を迎えた時に、それらの概念をまとめ「和創良靴」という目的を掲げました。和には日本らしさという意味と社員全員が力を合わせるという2つの意味があります。「和を持って良い靴を作る」このことが、世界一の靴作りを目指すコンセプトです。当社のモットーである「開発と挑戦」を続けながら、お客様の心に響き、長く愛される本物を届けられるよう日々研鑽（けんさん）を積んでいきます。

いざ！インタビューへ

Q 革靴を作るうえで大変なことは？

革の取り扱いです。革は自然のものなので、1枚1枚違って、傷が多いものもあれば少ないものもあり、革を裁断するときの場所の選定が難しいです。



Q この仕事のやりがいは？

商品を納品した後にお客様からお礼の手紙をいただいたときや追加注文をいただいたときによかったなと思います。特に「宮城興業の靴以外履かない!」とお言葉をいただいたときはとても嬉しく、そういったお客様の声で製造部門のモチベーションが高まります。



Q 革靴は、普通の靴と何が違う？

履いているうちに自分の足になじんで履き心地がよくなります。また、動物の革を使っているので、定期的手入れをすれば何年もよい状態を維持して履き続けられます。ソールを交換すれば、さらに履き続けることができます。



Q 1足の靴を製造するのにどれぐらいの時間がかかる？

円滑に工程を進めれば約1週間でできます。ただし、数を多く作ったり注文が重なったりすることもあり通常は約1か月かかります。何百足も作る場合は、3か月以上かかることもあります。



企業見学を終えて

靴を作るにもさまざまな大変な工程があり驚きました。革靴だけでなく名刺入れや財布、バッグなども作れると知りすごいと思いました。小学校の社会科見学で訪れた時とは、違う視点で企業を感じることができました。
【高校1年生 女性】

長い歴史があって、当初は軍靴を製造していたのが、ボウリングシューズへの製造になったりとニーズに合わせて製造するものが変わったことがわかりました。また、SDGsにも心掛けていて、革の端材を使って小物を製造するなど、最大限まで材料を大切に使用していることが印象に残りました。
【高校1年生 男性】

主に、牛や馬の革を使っていましたが、羊やエイ、トカゲなど珍しい革で作る靴もあるということが印象に残りました。
【高校1年生 男性】

店で並べられているような靴になるまで、たくさんの人と機械によって、でき上がることを知ってものづくりの大変さに驚きました。これを機に自分の使っているものなどをもっと大切にしていこうと思いました。
【高校1年生 男性】

使用できない端材や残革を活用して新商品を開発するなど、製造業ならではのSDGsへの取り組みに改めてすごいと感じました。
【高校1年生 男性】





【企業概要】

- **所在地** 山形県南陽市元中山213
- **代表者** 代表取締役 深津 悟
- **ホームページ** <https://www.yamagata-asahi.co.jp>
- **事業内容** 通信インフラ関連などのステンレス製ラックおよびユニットなど
- **事業概要**



〈HP〉

大型精密板金加工メーカーとして設計、板金製造、塗装、組み立てまでをワンストップ生産。主に通信インフラ関連のラック製品を中心に生産しています。その中でもステンレス製の屋内外ラック製品の製造を得意としています。自然、環境、地域社会、お客様、社員、そしてその家族すべてが幸せになれる、そんな会社を目指し、変わり続ける時代を突き抜けます。

いざ！インタビューへ

Q 新入社員に求めるスキルは？

スキルを求めることよりも、まずは会社になじんでいただき、この会社で頑張っているという気持ちになってもらうことを重要視しています。現在、新人が企画したeスポーツのプロジェクトを会社で支援しています。仕事以外の場面で新人が持っているスキルを把握し、ただ働くのではなく、自分の居場所を見つけられる機会をつくっています。スキルを求めるのは入社2年後、3年後です。その人にどのようなスキルがあるかを把握した後、その人にあった仕事をしてもらうようにしています。まずは、気持ちよく会社に出勤できるような環境を整えます。きちんと働ける環境を会社が提供して、その先に課題を与えるようにしています。



Q この仕事のやりがいは？

お客様の要望と自社の製造現場の意見を調整して、それがぴったり合い、お客様から「いい製品を作ってもらって、納期も間に合いました。ありがとうございます。」と言われたときは、やってよかったと感じます。



Q SDGsに取り組もうと思ったきっかけは？

会社で注文している社員向けの弁当に地元の食材を使ってもらったことがきっかけです。3年前、弁当屋に地元の食材だけで作ってほしいと要望しましたが、採算が合わないと断られました。あきらめずにどうしたら作ってもらえるかを考えました。社員全員で弁当を頼めばよいと考え、社員の弁当代を無料にしました。その結果、ほとんどの社員が弁当を頼むようになり、それをきっかけに地元の食材を3分の1ほど使った弁当を作ってもらえるようになりました。今では、弁当屋と一緒にSDGsに取り組んでいます。当社は、FMラジオCMで「中小企業でもできるSDGsを推進しています」と宣伝しています。2年前から始めたSDGsの取り組みは、県内で一歩先行しています。さまざまなことをやっていますが、実は誰でもでき、難しくはありません。ちょっとしたことでもSDGsになります。



企業見学を終えて

社長の話の中で、「社員がここで働きたいと思う環境を作ることが第一優先」とおっしゃったことに驚きました。月に1回、社長自ら作るカレーが食べたいです。
【高校2年生 男性】

会社がとても楽しそうでした。また、eスポーツを開催したり、お昼のカレーを社長が月に1回作ったりと、社員の方の仲がよい会社だと思いました。
【高校2年生 女性】

明るく接しやすい職場だと感じました。月に1回の社長が作る特製カレーを食べてみたいと思いました。
【高校2年生 女性】

新入社員の人たちが早く職場に慣れるように、社長や先輩社員が気を配り、eスポーツ大会を開いたりするなど、社員への気配りができる優しい会社だと感じました。
【高校2年生 女性】

社員に対する思い、会社に対する思い、お客さんに対する思いがとてもすてきだと思いました。また、ゲーム大会や社長カレーなど、会社をよくしようとする思いが強く、入社できたらやりがいがあるだろうと思いました。
【高校2年生 女性】

